

学生・教職員の皆様

新型コロナウイルス感染症の国内状況が一段落し、国の緊急事態宣言が解除され、社会は経済や教育などの活動を再開しつつあります。

本学では2月中旬から対策を本格化させ、4月から大学封鎖を行いました。教育では、様々な困難がありましたが、学生教職員が総力を挙げて遠隔教育を構築、実施し、さらにそれらを充実してきました。これまでの皆様のご協力に感謝するとともに、努力と献身に敬意を表します。

新型コロナウイルスは感染者の一部は無症状で、かつ感染源となりえます。また有効なワクチンや抗ウイルス薬が未だありません。したがって対策が大変困難な感染症です。現状では、残念ながらウイルスは社会に浸淫し、高齢者や喫煙者、他の疾患を持つひとが利用する医療機関や介護施設などでは集団感染を起こし、高い致死率を示します。

さらに、第2, 3波の感染勃興も危惧されています。これはわが国の多くの国民が自然感染やワクチン接種による免疫を持つまで続きます。

以上の状況と、保健医療福祉分野の教育を主体とする本学の特性を勘案すると、対面による教育活動の再開には慎重な対策が必要です。教務委員会を中心に、学内での感染予防を測りながら、いかにして対面授業を再開するかを検討しています。可能ならば7月にも一部の学内授業を実施できることを願っています。それが実現した際には学生の皆様に大学でお会いする日を楽しみにしております。

本学の教育において比重の大きい学内演習や学外実習については、一日も早く再開したいところです。実習施設と緊密な連絡を取り、本学および実習施設の準備状況、地域の感染流行の趨勢などを注意深く勘案しながら、準備を進めて参りたいと思います。

大学教育としては異常な事態が続いていますが、感染はいつか必ず収束します。それまでは様々な対策のもと、大学教育を継続させていきます。学生教職員の皆様のご協力をお願いいたします。

2020年6月1日
公立大学法人 埼玉県立大学
学長 萱場 一則



週日にもかかわらず誰もいない大学